

令和 7 年度 第 1 回 神奈川県大規模氾濫減災協議会

4 提案議題

議題

マイ・タイムラインの効果について（山北町）

- ・ マイ・タイムラインの作成啓発に努めているが、効果が感じられない。
- ・ マイ・タイムラインの啓発により効果があった（災害時に機能した）事例について、良い事例があれば紹介いただきたい。



わが家の「マイ・タイムライン」



山北高校での防災教育の状況

提案議題

紹介 事務局(県)からの事例紹介

●マイ・タイムライン普及啓発活動の**目的**

- ①実際の災害で「**自発的な避難行動**」につながる。
- ②日頃の防災への備えを考える「**きっかけ**」になる。

➡大きな災害の経験がなく、①の浸透が難しい場合、まず②を重点に置くことも考えられる。



きっかけを作る防災講座としての参考事例

- ①マイ・タイムラインリーダー認定者の活動記録
- ②マイ・タイムラインリーダー向け逃げキット活用ガイド
- ③マイ・タイムライン取組事例集

※①② = 国土交通省下館河川事務所、③ = 神奈川県（県内市町村の事例集）

紹介 事務局(県)からの事例紹介

- ① **マイ・タイムラインリーダー認定者の活動記録**(国交省下館河川事務所)
→啓発活動を多く経験した方(マイスター)の工夫点が掲載
- ② **マイ・タイムラインリーダー向け逃げキッド活用ガイド**(同上)
→説明する上で活用できる知識や、災害発生状況とリンクする動画等を紹介

講習会時に工夫している点

1. 作成途中にくまなく巡回する
2. 進行状況に合わせてヒントを与えてあげる
3. 地元のハザードマップを基に具体的に説明する。
4. 全然進まない受講者には定型文のシールだけ先に台紙に貼付させる(以降が進みやすい)
(全員にもこの方法が良いと思う(腕を組んで先に進まない受講者が多い))
5. 良く出来ている受講者をあらかじめ目星をつけておいて3~4名に発表して貰う(拍手を誘導)
6. 最後に改めて「マイ・タイムライン」の必要性を伝える

マイ・タイムライン マイスターの方の活動記録
(国土交通省下館河川事務所ホームページ)

動画URL

逃げる工夫

- 自分事として捉えてもらうため、「知っていますか?」など、参加者への投げかけが有効です。
- 多くの人は、防災講座は難しい、楽しくないというイメージを持っています。興味を引く話し方の工夫をしましょう。
- 例) ○○市では皆さんが初めて? サレドでも全国放送された。1万人以上が作っている。

解説

- 家族構成をとっても、単身者、高齢者のいる世帯、乳幼児がいる世帯などさまざまです。
- 例えは、足の悪いおじいちゃんがいるお家では、避難に時間がかかるため、早く避難することを検討した方が良さそうです。
- 生活環境も、職業、日々の生活スタイル、必需品などさまざまです。このように、一人ひとりやらないといけないことが違ってきます。安全に避難するため、一人ひとり考えて、作成するものが、マイ・タイムラインです。

講師の工夫

- 視覚的であり、時間計とれる場合には、マイ・タイムラインの概要を説明した動画「マイ・タイムラインで逃げ遅れゼロ〜洪水から自分の逃げ方を考えよう〜」を放映することも効果的です。
(<https://metimeincriver.net/jp/>)

逃げキッドの活用

逃げキッドという名前って、どうやってできたの?

逃げキッドは、3つの思いが込められています。
①(全員一式「キッド」の意味
②子供(キッド)にも楽しんで防災を学んでもらいたい(鬼塚を込めて)
③「逃げ遅れゼロ」を目指して、毎日避難の準備で頑張る・・・

逃げ遅れゼロ!!!

他にも楽しんで防災を学んでもらう工夫がされているよ?

「逃げ遅れゼロ」でマイ・タイムラインの資格がもらえる。

作成したマイ・タイムラインは避難場所などに、よく目につくように貼るよ。

マイ・タイムラインリーダー向け逃げキッド活用ガイド
(国土交通省下館河川事務所ホームページ)

- ③ **マイ・タイムライン取組事例集**(神奈川県)
→県内市町村が実施した防災講座等の内容や工夫点、効果等を取りまとめ
※本事例集は、協議会資料の参考資料として添付しております。

共有

構成員の皆さまから、本議題関連で共有いただける、以下のような事項がございましたら、積極的にご発言をお願いします。

- ・ マイ・タイムライン作成啓発事例
 - 参加者から好評であった啓発方法
 - 参加者からの意見を踏まえ改善したこと
 - 啓発に関する新しい取組事例(スマホアプリとの連携など)
- ・ 被災を受けて見直した事項
 - マイ・タイムラインに記載されている「避難情報」の発表基準見直し
- ・ その他、マイ・タイムラインの普及啓発関連で取り組んでいる内容